

ポートフォリオで技能の高まりを実感する

生徒たちは、水墨画の基本である墨の濃淡を調節する方法や筆の運び方（運筆法）を学んできました。

本時では、面でそのものの形を表す「附立」について学習を行います。筆に墨の含ませ方を変えてグラデーションができる技法をマスターします。



①本時の学習は「水墨画の調墨を身につけ、墨の濃淡を生かした表現の良さを味わおう」です。一筆だけでグラデーションを作り出して「竹」を描きます。



②今までの授業で学んだ内容やお手本は schoolTakt の中に入っているので、いつでも参照することができます。



③基本練習の成果を撮影して school Takt に記録しておきます。撮影しながらこの技法は「鯉の鱗」に使えそうだと気づきました。



④書画カメラも用いて「竹」の描き方を先生が実演します。今まで練習してきた運筆法を組み合わせ描いていきます。



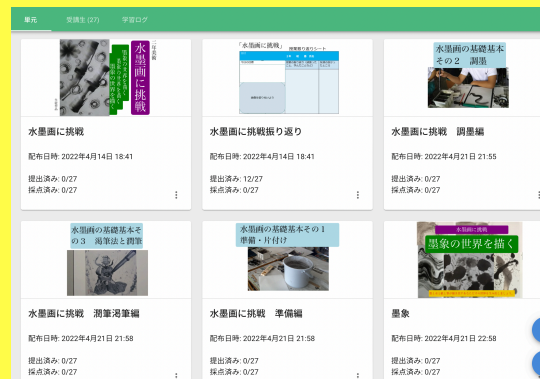
⑤本時の目標であった「竹」を描きました。スクールタクトに作品の写真を貼り付けた後、「授業の振り返り」や「友達の良かったところ」を書き込んでいきます。



⑥授業の最後に「振り返り」を共有します。「グラデーションが前回の花びらを描く時より上手にできたので良かった。竹の葉をもう少しシュッと描けるようになった」といった振り返りがありました。

西箕輪中学校 美術 加藤博美 先生の実践をもとに推進センターで編集させていただきました

schoolTakt お気に入りの授業



←授業の中で扱う技法をあらかじめスクールタクトで配布しておきます。これによって生徒はいつでも見たい情報にすぐにとり着くことができます。

また、毎時間の学習の振り返りを書くことによって、自分の作品の進捗を振り返ることができます。先生への質問や先生からのアドバイスも作品制作の参考になっていきます。

何より自分の学習の深まりが実感できます。

スクールタクトを使うと今までの授業がより充実したもの生まれ変わります。授業を提供していただいた加藤先生に、これまでに実施した授業の中からお気に入りの授業を紹介してもらいました。

先生の授業では今までの「学習カード」にあたるものがほとんどスクールタクトに置き換わっています。生徒はアイデアをスケッチする場面で、イメージに合った写真を撮影し、描かないものを省略したり、逆に描き加えたいもの付け加えたりしています。

授業の振り返りや友達への評価、先生からの一言も次時の学習の展開につながっていきます。

加藤先生は、すでに1年間分の教材が整理してあります。日々、教材研究を行いながら毎年少しずつ改善を行なっています。

イメージをスケッチで表現している。自分のイメージに合った写真を撮っている。左下の部分を省略して作画しようと考えた。

制作の振り返りシート

日付	今日の目標（活動内容）	授業の振り返り	友達の良かったところ
5月9日		パッシュを描きかけたので、パッシュを描いてみた。筆で写した感じが描きづらかった。なので、線の厚で写した感じがいいです。	みんな頑張ってるっていいなと思った。

背景は夕焼けとか？光と影をうまく使うとイメージが演出できるかな。

制作の振り返りシート

日付	今日の目標（活動内容）	授業の振り返り	友達の良かったところ
5月9日		実際に体育館に行ってみたら壁がイメージが湧いてきたのでよかった。曲線感を出せるように工夫した。もっと工夫して色を重ねてパッシュの厚い感じを出せるようにしたいです。	写真の撮り方を工夫してやってた

効果的